

## 5 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実施事業	白石踊後継者育成事業（生涯学習課）
総事業費	855,000 円
ふるさと納税充当額	854,000 円

白石踊は白石島に古くから伝わる盆踊りで、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと言伝えられています。地元白石島では「白石踊会」が保存伝承に努めています。

本事業では、白石踊会が、定期練習会の開催を通じて、白石踊会笠岡支部の会員に指導を行い踊りの技術の向上を図ったほか、踊りの新たな担い手とするべく新会員を募り、踊り方を一から指導しています。また、普及活動のための踊り手の衣装を新調しました。こうした活動が、白石踊の伝承・普及につながっていきます。



定期練習会の様子

実施事業	木山捷平生家維持管理事業（生涯学習課）
総事業費	324,509 円
ふるさと納税充当額	150,000 円

木山捷平は笠岡市山口出身の詩人・小説家です。その生家は明治末頃の建築で、木山捷平の作品の世界観をよく残しています。平成30年度にご遺族から寄附を受けてから、少しずつ補修工事を行い、公開活用に向けて環境を整備してきました。今年度は、「木山捷平の居た風景」と題し、講話、生家見学会及び捷平の短編小説の朗読会を行いました。参加者には、捷平が居た風景の中で、木山文学の世界を楽しんでもらいました。

そのほかに、庭にある井戸の屋根の修理を行いました。除草や清掃等の日常管理も継続し、良好な環境を保てるよう努めています。



木山捷平生家での朗読会の様子

実施事業	竹喬美術館輸送・展示・撤収業務委託（生涯学習課）
総事業費	7,347,088 円
ふるさと納税充当額	1,400,000 円

令和3年度は、竹喬美術館において7回の展覧会を開催しました。美術品の取扱いには高度な技術を求められ、展覧会に係る作品の借用、輸送、展示、撤収業務を美術品梱包輸送技能士の資格を有する作業員がいる業者に委託しています。

【令和3年度展覧会】

- ①特別展 絵本作家 葉祥明 -風景に託すはるかな想い- 4/1～5/9
- ②特別陳列 日本の溪谷を描く 5/15～8/1
- ③特別陳列 瀬戸内の四季 森谷南人子の世界 8/7～10/17
- ④特別展 谷口香? 10/23～12/5
- ⑤特別陳列 アートの今・岡山 2021-器- 12/11～1/10
- ⑥特別陳列 日本の版画 万華鏡 1/15～3/13
- ⑦特別陳列 大正の文人画ネットワーク  
-加野象二郎コレクションを中心に- 3/19～3/31



葉祥明展 講演



葉祥明展 絵本紹介

実施事業	笠岡ふるさと再発見事業（生涯学習課）
総事業費	145,602 円
ふるさと納税充当額	50,000 円

令和3年度で7回目となった「笠岡へ愛着を持ち隊」は、小学生とその保護者に、笠岡の良いところに訪れる機会を提供し、笠岡のことをもっと知って、もっと好きになってもらうことを目指しています。具体的には市内の小学生とその保護者に、『文化財めぐりハンドブック』に掲載された市内の文化財や文化施設を巡り、そのレポートを作成してもらいます。

応募者全員に笠岡市の文化財クリアファイルを贈呈しています。さらに、優秀賞の3人には、笠岡の特産品を賞品としてプレゼントしています。応募作品は市立図書館で展示して来館された皆さんに見ていただきました。



優秀者の賞品



市立図書館での展示の様子

実施事業	井笠鉄道記念館管理事業（生涯学習課）
総事業費	1,104,128 円
ふるさと納税充当額	970,000 円

笠岡市井笠鉄道記念館には、コロナ禍にもかかわらず、市の内外から多くのお客様が来館されます。平成 27 年から記念館の管理と運営に携わる新山地区自治会が来館者のおもてなしや、清掃などを行っています。地元の人たちが愛着を持って見守ってくれています。

また、記念館の建物は、大正 2 (1913) 年に建築された旧新山駅の駅舎を利用したものです。100 年以上の風雪に耐えた木造の建物を将来にわたって保存し利用していくために、外壁に防腐剤を塗布しました。ほこりを落とし、防腐剤でコーティングすることで、建物の劣化を防ぐことができました。その他に、屋外にある保存車両の解説板の修理も行いました。

これからも、末永く井笠鉄道の歴史を伝えていくとともに、多くの方に訪れてもらえるよう努めて参ります。